

令和5年度(第69回)齋藤茂吉文化賞受賞者の決定について

9月8日(金)10時30分から県庁内において齋藤茂吉文化賞委員会を開催し、令和5年度(第69回)齋藤茂吉文化賞の受賞者を以下のとおり決定しました。

受賞者

(五十音順)

| 受賞者 (団体)名 | 年齢 | 住所 (所在地) | 功績概要 | 分野 |
|--------------------|----|-------------|--|--------------|
| おおたき たもつ 大瀧 保 | 85 | 山形市 | 山形県歌人クラブ名誉会長、歌誌「山麓」元編集長 ・山形県歌人クラブ会長や齋藤茂吉記念館評議員に就任。 ・歌誌「山麓」編集長や山形新聞歌壇選者を務めたほか、各短歌会の講師や山形市内などで平成19年からこの間「短歌教室」を開講するなど、県内の短歌の普及に尽力。 | 文学 (短歌) |
| せきや じゅん 関矢 順 | 74 | 酒田市 | 混声合唱団「コーロプリモ」会長・指揮者 ・ボーカルスタジオ混声合唱団「コーロプリモ」の合唱指導者・指揮者として、長きにわたり活動し、音楽発展と振興に貢献。 ・地元の合唱団を母体に酒田フィルハーモニー管弦楽団との共演による本格的なオペラ上演を実現させたほか、海外各地での公演の開催などを通して、音楽による国際交流を推進。 ・酒田市の記念行事コンサート等で酒田市内の他の合唱団との大合唱団を形成、牽引。歌う喜びの輪の拡大や様々な方々との人的交流をもたらす等「楽都酒田」の実現に向けて尽力。 | 音楽 |
| やまぎし こういち 山岸 幸一 | 76 | 米沢市 | 草木染織家 ・植物本来の色が出る糸や染め、そして手織りでしか出せない風合い等を追求。冷染技法にて染め織りあげた織物「寒染」が代表的な作品。日本伝統工芸展などで数多く受賞。 ・白い紅花「保光(ほこう)」の葉から染液を作る保光イエローと呼ばれる紅花染やプラチナボーイ(蚕)による新たな素材を用いた制作にも挑戦。令和4年度日本伝統工芸展で入選。 ・工房に研修生を招くなど後継者育成やYouTubeなど新しいメディアを用いた広報、普及活動を実践。着物に縁遠かった層や若い層への伝統技術の普及を図っている。 | 伝統工芸 (染織) |

※ 受賞者の生年月日、電話番号、住所(地番)、写真の電子データが必要な場合は、事務局までお問い合わせください。

(参考)

1 贈呈式(山形県産業賞と合同で開催)

日時 令和5年11月11日(土)10時30分から
場所 山形県郷土館「文翔館」(山形市旅籠町)

2 齋藤茂吉文化賞について

齋藤茂吉文化賞は、茂吉翁の偉業を偲び昭和30年に創設されたもので、芸術又は学術の面で功績があり、本県文化の向上に寄与された個人又は団体を顕彰しているものです。

選考は、学識経験者等で構成する齋藤茂吉文化賞委員会(委員長:知事)が行い、広く県内各方面から推薦を受けた方々の中から受賞者(個人又は団体)を決定します。

3. これまでの受賞者(第1~68回)

| | | | | | |
|--------|-------|----|-------|----|-----|
| ① 芸術部門 | 文 学 | 個人 | 4 6 | 団体 | 2 |
| | 美 術 | | 3 8 | | 1 1 |
| | 演 劇 | | 1 3 | | 7 |
| | 音 楽 | | 1 6 | | 5 |
| | そ の 他 | | 1 6 | | 5 |
| ② 学術部門 | 人文科学 | | 3 9 | | 4 |
| | 自然科学 | | 1 6 | | 1 |
| 合 計 | | | 1 8 4 | | 3 5 |

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



問合せ先 文化スポーツ振興課 担当 永井

電話 023-630-2283

報道監 観光文化スポーツ部次長 丸子

令和5年度（第69回）齋藤茂吉文化賞受賞者



大瀧 保 氏



関矢 順 氏



山岸 幸一 氏

令和5年度(第69回)齋藤茂吉文化賞受賞者 功績概要書

| | |
|---|------------------|
| 氏名 | おおたき たもつ 大瀧 保 |
| 年齢 | 85歳 |
| 住所 | 山形市東山形 |
| 部門 | 文学(短歌) |
| <p>具体的功績</p> <p>1 平成27年から29年まで山形県歌人クラブ会長を務めるほか、歌誌「山麓」編集長・選者や山形新聞歌壇選者、齋藤茂吉記念館評議員として、県内の短歌の普及に尽力。</p> <p>2 各短歌会で講師を務めるほか、山形市内などで平成19年からこの間「短歌教室」を開講するなど、指導を通して短歌の普及に尽力。</p> <p>3 主な出版物 歌集「光屈性」(平成25年)、「短歌語録集」(令和3年)、「短歌随想集」(令和5年)</p> | |
| <p>備考</p> <p>1 現在の役職 山形県歌人クラブ名誉会長 歌誌「山麓」元編集長 齋藤茂吉記念館評議員 山形市芸術文化協会委員・編集委員</p> | |

令和5年度(第69回)齋藤茂吉文化賞受賞者 功 績 概 要 書

| | |
|--|-----------------|
| 氏 名 | せきや じゅん 関矢 順 |
| 年 齢 | 74歳 |
| 住 所 | 酒田市中町 |
| 部 門 | 音楽 |
| <p>具体的功績</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 酒田市名誉市民・加藤千恵氏が創設した「ボーカルスタジオ」の精神を受け継いだ、ボーカルスタジオ混声合唱団「コーロプリモ」の合唱指導者・指揮者として、長きにわたり活動し、酒田・庄内地域及び県下の音楽発展と振興に貢献。 また、「関矢音楽スタジオ」を主宰し、後進の音楽指導に携わるほか、「酒田マリーングジュニア合唱団」など小中学生たちの合唱指導にも情熱的に携わっている。 2 地元の合唱団を母体に、酒田フィルハーモニー管弦楽団との共演で、アマチュアによる本格的なオペラ上演を実現させている。 3 「コーロプリモ」や酒田市内・遊佐町の合唱団の演奏会、また、「酒田フィルハーモニー管弦楽団」との共演を含め、オーストリアのウィーン、ロシア他、海外各地での公演等を実現させたほか、数多くの海外公演に招かれている。こうした海外公演等を通して、音楽による国際交流を推進。 4 酒田市の記念行事コンサート等で酒田市内の他の合唱団と大合唱団を形成、牽引。歌う喜びの輪の拡大、表現の向上に寄与するとともに、音楽アーティストなど様々な方々との人的交流をもたらす等、「楽都酒田」の実現に向けて尽力している。 | |
| <p>備 考</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 現在の役職 ボーカルスタジオ混声合唱団「コーロプリモ」会長（指導者・指揮者） 同 女性合唱団「コールカラスロワ」指揮者 酒田市中心公民館事業「酒田マリーングジュニア合唱団」指導者 酒田市音楽団体協議会会長・酒田飽海地区合唱連盟会長 等 2 受賞歴 平成14年 第47回酒田市芸術文化協会 功労者表彰 平成29年 酒田市功労表彰（芸術文化功労） | |

令和5年度(第69回)齋藤茂吉文化賞受賞者 功績概要書

| | |
|--|--|
| 氏名 | やまぎし こういち 山岸 幸一 |
| 年齢 | 76歳 |
| 住所 | 米沢市赤崩 |
| 部門 | 伝統工芸（染織） |
| <p>具体的功績</p> <p>1 植物本来の色が出る糸や染め、そして手織りでしか出せない風合い等を追求し人工の原料を使わず物を作り上げることを考え40年以上創作活動に取り組んでいる。 代表的な作品は「寒染」という冷染技法にて染め織りあげた織物。作品は、日本伝統工芸展で奨励賞を受賞する等入賞は多岐にわたり、日本工芸会正会員認定、伝統工芸新作展鑑審査委員を務めるなど、その技術は高く評価されている。</p> <p>2 突然変異で白い紅花が咲いたことから、これを分析し、恒常的に咲かせることに成功。「保光（ほこう）」と命名し、平成18年新品種登録を行った。花ではなく葉から染液を作り、保光イエローと呼ばれる紅花染を製作。近年では、プラチナボーイという蚕を用いた製作に取り組み、5年の歳月をかけて着物を完成させる等新しい素材にも挑戦。令和4年度の日本伝統工芸展でも入選を果たしている。</p> <p>3 メディアへの出演や雑誌での紹介、東北芸術工科大学での非常勤講師としての素材実習や、第11回国際絞り会議 inJapan 山形本会議でのプレゼンテーション講演等、技術を繋ぐための活動も精力的に行っている。</p> <p>4 工房に研修生を招くなど後継者育成にも力を注いでいる。さらに呉服店とのタイアップ企画では、YouTube など新しいメディアを用いた広報、普及活動を行い、着物に縁遠かった層や若い層への伝統技術の普及を図っている。</p> | |
| 備考 | |
| 1 現在の役職 | 草木染織家 日本工芸会正会員 |
| 2 受賞歴 | 平成12年 日本伝統工芸展奨励賞 令和5年 第43回伝統文化ポーラ賞（地域賞） |